凌霜

郡上市教育委員会

青少年育英奨学資金貸付（一時金貸付）について

今春、高校・大学・専門学校等に入学を予定されている人で、経済状況の悪化により入学金等の支払いが困難となっている学生等を対象に、一定の基準により奨学金（一時金）の貸し付けを行います。

対 今春入学予定の学生等

内 ▼貸付額…50万円以内。▼利息と返還…無利息で、在学中は返還が猶予され、卒業後からの返還となります。▼貸付決定…提出された申請書の内容（所得金額等）を審査して決定します。

期 平成27年3月26日（木）

問 教育委員会教育総務課

☎ 67・1123

教育ローン利子補給のご案内

子弟等を大学等に修学させるために、民間金融機関（消費者金融除く）及び日本政策金融公庫から教育ローンを借り受けている人に利子補給を行います。

▼対象者の要件…●市内に1年以上住所を有し、居住していること。●世帯所得の総額が、生活保護法による保護基準に定められた額の2.5倍未満であること。●市税等の滞納がないこと。

▼**対象となる教育ローン**…●100万円以上を証書貸付で借り受け、年利1％を超えているもの。●限度額300万円まで。

▼**利子補給金額**…●6万円以内（借り入れ利率で算出した額と2％で算出した額を比較して少ない方の額）。

▼**利子補給期間**…●在学中の大学等の正規の修学年数の間で、毎年度、申請と審査。

期 平成27年4月1日（水）～5月29日（金）まで

問 教育委員会教育総務課

☎ 67・1123

青少年の健全育成に尽力されました

平成26年度岐阜県青少年健全育成県民大会において、青少年の健全育成に尽力されるなど、その功績が顕著な方々が表彰されました。

【岐阜県環境生活部長表彰】

◇優良少年補導委員等表彰

上村幹夫（白鳥町）、日置英司（美並）、大井和彦（大和）、羽生光容（白鳥）、臼田善樹（大和）

【岐阜県青少年育成県民会議会長表彰】

◇青少年指導者等顕彰

武藤健治（八幡）、羽山吉弘（八幡）、洞戸博英（八幡）

【家庭の日ポスター入賞】

◇小学生の部「入選」

池戸俊人（西和良小学校）

※順不同、敬称略

1月は「家庭の日」普及実践強調月間です

岐阜県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、心豊かで明るく、自立した青少年を育む開かれた家庭づくりを奨励しています。この運動を一層推進するため、新しい年の出発に当たる1月を「家庭の日」普及実践強調月間として普及実践を図ります。

（1）望ましい家庭のあり方をみんなで話し合い、その実現に努めましょう。

（2）地域の人々との交流を大切にして、絶えず言葉をかけ合いましょう。

（3）家族そろって地域活動に参加しましょう。

図書館だより 129回

「ふるさとをつくる」

生まれ育った郡上で、今後も住み続けていくためにはどうすればいいのか？そんな問いにヒントを与えてくれそうな、地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う藻谷浩介さんと、地域の課題を地域に住むひとたちが解決するためのコミュニケーションデザインに取り組む山崎亮さんを紹介します。

《藻谷浩介》1964年山口県に生まれる。東京大学法学部卒業後、コロンビア大学ビジネススクールへの留学を経て現在は、（株）日本総合研究所調査部主席研究員。

《山崎亮》1973年、愛知県に生まれる。studio-L代表、京都造形大学教授。

同じようなテーマ（地域活性化）で活動する二人を知る友人が、「ふたりで会って話せば面白いかも…」と、出会いの場を設けてくれたのが話をするようになった発端とか。

全国ほとんどの市町村で実地踏査をする藻谷さんは、地域の実情と経済問題の両方を見つつ、様々な指摘・提言を行っています。（郡上市では、昨年3月1日「合併・市制施行10周年記念講演会」で「郡上市の地域力とこれからの地域づくり」と題して講演をしていただきました）。

片や、実際にまちづくりのワークショップや、住民参加型の総合計画を手掛ける山崎さん。経済的には決して成長しているようには見えない全国の中山間地で、それでも豊かに楽しそうに暮らしている人たちにたくさん出会うといいます。そのあたりのとまどいを山崎さんは藻谷さんにぶつけます。

それを受け藻谷さんは、皆が口にする、いかにももっともらしい総論が、どうも自分が身の丈で感じる現実と、はずれていると感じたら現場での経験に照らし合わせ、いかに修正し、自分の腑に落ちる話に組み立て直していくかが大切と、山崎さんにアドバイスします。

1月　図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※はちまん分館は、電気設備工事による停電のため、17日(土)・31日(土)を臨時休館します。
※わら分室は、日月祝日が休館になります。
※めいほう分室は、第1土曜日以外は土日祝日が休館になります。

地域包括支援センターだより

「認知症学習会」を開催しました

行政パートナーと地域包括支援センターとの協働事業として、「みんなで認知症を知ろう！」と題した認知症学習会を11月13日（木）に開催しました。

当日は、認知症の家族を介護している介護者、認知症の診断を受けた高齢者ご自身が、自分の体験を話されました。

◎わかっていても怒ってしまう「介護者の気持ち」

認知症の夫を介護している奥さまが、最初にご主人がおかしいと思ったきっかけは、奥さまに対して「浮気している」というようなことを言い出したとのことでした。その後、散歩に出たまま帰ってこなかったり、認知症の特徴である物忘れが出てきたり、介護の負担が増えてきたとのことでした。

その中で、専門病院にかかったこと、家族の支えがあったこと、デイサービスの利用を始めたことなどを通して、何かあったときにも怒らない方法をご自分で考えるようになったとのことです。腹が立った時には川柳を詠まれるのも、怒りを鎮める方法だそうです。

どなられても
トイレにかけこみ
時を待つ

◎認知症と診断されたショック「本人の気持ち」

認知症の診断を受けた本人のお話では、最初におかしいと感じたことは、家の中に蟻がいっぱい見えたり、水道から出る水が粘っぽく見えたりといったことだったそうです。本人の言うことがおかしいと感じたご家族と受診され、レビー小体型認知症の診断を受けられました。これは、新しいタイプの認知症で、幻視は特徴的な症状としてあるものです。

現在は、薬が良く効いて変なものは見えなくなり、まわりの方の協力を得ながら生活を続けておられます。早く病気を発見し治療することと、家族のきずなの大切さを感じたとのことでした。

◎お話で共通していることは

（行政パートナーの感想）…

▼**早い段階での受診**＝専門の先生に診ていただいたことで、病気について理解をすることが出来たように思います。

▼**地域の支援**＝地域の方に状況をお伝えして、何かあった時に助けてもらう体制を作っておられることです。周囲の支援があることで、認知症になっても地域で暮らし続けられると感じました。

認知症について、理解している人を地域の中で増やしていけるよう「認知症サポーター養成講座」を開催しています。地域の集まりなどへお伺いしますので、お気軽に地域包括支援センター（67・0008）まで問い合わせください。

▲認知症の学習会に参加されたみなさん

図書館行事一覧

行事名	日程	時間	館名
村上康成さん絵本ライブ「ねぇおはなししてむらかみさん」	10日（土）	13：00～	本館
「本の福袋」貸出します	6日（火）～無くなり次第		〃
新春マンガフェアー	6日（火）～25日（日）		本館
お正月おたのしみ会	24日（土）	10：00～	〃
おはなしひろば	毎週（土）	14：00～	〃
「郡上かるた」パネル展	6日（火）～22日（木）		はちまん
おはなし会	10日（土）	14：00～	〃
おはなし会	毎週（土）	10：30～	やまと
おはなし会	17日（土）	10：30～	たかす
おはなし会＆工作	24日（土）	10：30～	みなみ
おはなし会	17日（土）	14：00～	わら

＜蔵書点検のお知らせ＞
本の棚おろしのため、右記の期間臨時休館します。
- 本館　27日（火）～29日（木）
- みなみ分室　27日（火）
- めいほう分室　29日（木）